

< セミナーのご案内 >

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 413 (通算 745 回)

2021年4月28日(水)

どう変化し、どう教えるか

新・教職課程の教学マネジメントと質保証

～ 学校現場からのニーズ/教員養成教育の深化/認定基準の改革動向 ～

- ※ 新時代の初中教育～教師・教員養成は/教職課程の共同実施/自己点検・評価と全学実施組織
- ※ 教職課程でのICT活用指導力養成/チェックリストの活用/信州大の取組事例～体系と科目
- ※ 教職課程の質保証/コアカリ導入の実態と課題/第三者・認証評価の課題/三団体の研究結果
- ※ 教職課程の内部質保証・向上～全国アンケート調査結果から/外部質保証の提案/基準協会は

● 講師陣 ●

- 森山 賢一 氏 / 玉川大学 大学院教育学研究科 教育学部 教授 教師教育リサーチセンター リサーチフェロー
中教審 教員養成部会 臨時委員
文科省「教職課程の質保証のためのガイドライン検討会議」 座長
- 佐藤 和紀 氏 / (国) 信州大学 学術研究院 教育学系 助教 教育学部 附属次世代型学び研究開発センター
教育学部 学校教育教員養成課程 現代教育コース ICT活用教育ユニット
- 牛渡 淳 氏 / 仙台白百合女子大学 人間学部 人間発達学科 教授
- 田代 守 氏 / (公財) 大学基準協会 評価研究部長 大学評価研究所 特任研究員

2021年4月28日(水) 日本教育会館 会議室(東京・神保町) & オンライン

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2021年4月28日(水) 10:00 ~ 16:50

会場: 日本教育会館 会議室(東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩3分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 42,000円(税込)

B. メディア参加(資料・音声CD送付) 44,000円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 22,000円(税込)

※「オンライン」参加は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。

☆ 高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株)地域科学研究会

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10

ライオンズマンション平河町101

Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 413

新・教職課程の教学マネジメントと質保証

(該当する□に✓印を)

年 月 日

勤務先

当日参加 オンライン当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込

必要書類 請求書 見積書 領収書

所在地(〒)

(請求書等記載の宛名)

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>10:00 }</p> <p>11:30</p>	<p>□ 教職課程の質保証向上と質保証評価 ～ 教員養成、教職課程認定の改革動向 ～</p> <p style="text-align: right;">玉川大学 森山 賢一</p> <p>1. 『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)』が意味するもの (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現 (2) 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICT活用 (3) 9年間を見通した新時代の義務教育の在り方 (4) Society5.0時代における教師及び教職員の在り方</p> <p>2. 複数の学科間・大学間の共同による教職課程の実施体制 (令和2年2月18日 中央教育審議会 初等中等教育分科会教員養成部会教職課程の基準に関するワーキンググループ) (1) 複数の学科等間、複数の大学間における教職課程の共同実施体制 (2) 教職課程の質の保証及び向上に関する仕組み</p> <p>3. 教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン (1) 教職課程の自己点検・評価の基本的考え方 (2) 全学的に教職課程を実施する組織体制 (質疑応答)</p>
<p>11:40 }</p> <p>13:00</p>	<p>□ 教職課程におけるICT活用指導力の養成 ～ 情報機器活用・同指導法の展開と実際 ～</p> <p style="text-align: right;"><オンラインによるご出講> (国) 信州大学 佐藤 和紀</p> <p>1. 学校現場にみる情報教育とICT活用 (1) 児童生徒たちの情報環境と学びへの活用力 (2) 学習履歴等の教育データによる個別指導 (3) 教師たちのICT活用への取り組みと抱える課題</p> <p>2. 教員養成段階におけるICT活用 (1) 「教員のICT活用指導力チェックリスト」への対応と活用法 (2) ICT活用に係るカリキュラムの設計と体系化</p> <p>3. 信州大学の教職課程における取り組み事例 (1) 教育情報化の科目体系 (2) 「コンピュータ利用教育」と各教科の指導法 (3) 「情報機器活用論」と「同指導法」 (4) 「教育実習でのICT活用授業」の実際 (質疑応答)</p>
<p>14:00 }</p> <p>15:20</p>	<p>□ 教職課程の質保証と第三者評価の課題 ～ コアカリキュラムの課題/開放制にふさわしい質保証とは ～</p> <p style="text-align: right;"><オンラインによるご出講> 仙台白百合女子大学 牛渡 淳</p> <p>1. 中教審答申(平成27年12月)に見る教員の資質能力向上策の特色 (1) 基準による向上策 (2) 協働による向上策 (3) 実践力による向上策</p> <p>2. 教職課程コアカリキュラム導入の実態と課題 (1) アンケート結果から見えるもの (2) その後の課題と学会の反応 (3) 今後の可能性</p> <p>3. 教員養成認証評価制度の課題 (1) 教員養成への認証評価制度導入の課題 (2) 三団体による委託研究結果 (3) ワーキングと検討委員会による方向性</p> <p>最期に～ 大学教育にふさわしい教員養成の質保証の在り方とは (質疑応答)</p>
<p>15:30 }</p> <p>16:50</p>	<p>□ 教職課程の内部質保証、外部質保証に関わる提案 ～ 大学基準協会全国アンケート調査の結果から ～</p> <p style="text-align: right;">(公財) 大学基準協会 田代 守</p> <p>1. 今日の高等教育質保証の方向性</p> <p>2. 中教審答申等に見る教職課程質保証システムに係る提言</p> <p>3. 大学基準協会 大学評価における質保証の特色</p> <p>4. 大学基準協会による全国教職課程へのアンケート調査 (1) 実施方法と回答状況 (2) アンケート調査の結果(部分) (3) アンケート調査結果を通して見えてきた内部質保証に関わる課題</p> <p>5. 教職課程の「内部質保証」に関わる提案 (1) 意義 (2) 構成要素 (3) 教職課程の全学マネジメント・システムにおける「内部質保証」の機能的有効性の評価要素(評価指標) (4) 内部質保証の概括的な仕組み (5) 内部質保証の対象項目(例)</p> <p>6. 教職課程の「外部質保証」に関わる提案 (1) 外部質保証の可能性とその位置づけ (2) 大学における教職課程と第三者評価 (質疑応答)</p>